

令和元年度 新宿駅周辺防災対策協議会 防災ウィーク実施報告

2020年3月5日

新宿駅周辺防災対策協議会事務局

工学院大学 村上正浩

防災ウィークの目的

◆ 実施期間 2019年11月8日(金)～18日(月)

◆ 実施目的 体験型イベント、講演会、企画展示

- ・ 地域の事業所勤務者・学生・来街者・一般市民等を対象に防災対策への関心を高める。
- ・ 防災ウィーク期間中、新宿駅周辺地域で体験型のイベント等を展開し、『新宿ルール実践のための行動指針』周知啓発キャンペーンを効果的に広報する。
- ・ 「新宿ならではの防災」に掛けて、協議会会員以外の団体等も巻き込みながら「できる人が、できる事を、みんなでやる」をコンセプトに顔の見える関係をつくる。



周知啓発ポスター

「新宿防災ウィーク2019」(左)

「新宿ルール実践のための行動指針」(右)

※私立大学研究ブランディング事業「巨大都市・複合災害に対する建築・情報学融合によるエリア防災活動支援技術の開発と社会実装」と連携して実施

防災ウィークのプログラム

11月8日(金)

- 地震防災訓練(工学院大学新宿キャンパス、新宿中央公園、新宿ファーストウェスト)

11月11日(月)

- 新宿ならではの炊き出し(学校法人新宿学園 新宿調理師専門学校 玄関前)

11月12日(火)～14日(木)

- D-ZEVのデモンストレーション展示(工学院大学新宿キャンパス 南側玄関前)

11月13日(水)

- 防災コミュニケーションツール(新宿センタービルロビー南側)
- 3ビル対抗VR避難ゲーム(新宿センタービルロビー南側、新宿野村ビルロビー西側、新宿三井ビルディングロビー北側)
- VR防災車体験(新宿三井ビルディング前北側道路)
- 起震車体験(新宿野村ビル前南側道路)
- コーヒーサンプリング(新宿野村ビル、新宿三井ビルディング)

11月14日(木)

- 講演会 事業所の地震対策(工学院大学新宿キャンパス A0652教室)

11月15日(金)

- 体感型脱出アトラクション(新宿三井ビルディング 55HIROBA)

11月18日(月)

- 応急救護講習会(日本赤十字社東京都支部 2階大会議室)

【協力】

新宿区、学校法人新宿学園新宿調理師専門学校、工学院大学、新宿ファーストウェスト、新宿センタービル、新宿野村ビル、新宿三井ビルディング、東京消防庁新宿消防署、日本赤十字社東京都支部、新宿区医師会、東京都(順不同)

2

“新宿ならではの”炊き出し

新宿駅周辺にはオフィスだけでなく商業施設や専門学校など、いざという時に「食」の観点から活動ができる方々がいる。今年も新宿調理師専門学校の学生が主体となり、災害備蓄品(今年は新宿区提供)を利用した「新宿ならではの炊き出し」を実施。おかゆ、豚汁、大学芋を300食提供。

- 実施日時:2019年11月11日(月)11:30～13:00
- 実施場所:学校法人新宿学園新宿調理師専門学校 玄関前
- 協力機関:学校法人新宿学園新宿調理師専門学校、新宿区(備蓄品)



3

新宿ならではの” 防災コミュニケーションツール(1)

新宿駅周辺には、防災に役立つノウハウやツールを持った企業・大学が数多くある。今回は、ドローンや避難体験VRなど、防災のコミュニケーションを活性化させる最先端のツールを紹介。

また、工学院大学の私立大学研究ブランディング事業で開発中の「D-ZEV」(11月12日～14日、工学院大学新宿キャンパス南側玄関前)も展示。

□ 実施日時:11月13日(火)11:00 ～ 16:00 (新宿センタービルロビー南側)

□ 協力機関・出展内容

- ・ 気象庁地震火山部管理課:長周期地震動と緊急地震速報を活用した対策
- ・ 株式会社エイソー:長周期地震動と緊急地震速報を活用した対策
- ・ アールシーソリューション株式会社:防災アプリ展示・体験
- ・ 株式会社理経:体験型VR訓練の展示・体験
- ・ FM防災Lab:災害救助訓練の体験
- ・ 工学院大学:私立大学研究ブランディング事業の研究成果の展示・体験
- ・ チーム・新宿:ドローンを活用した取組紹介
- ・ 公益財団法人東京都中小企業振興公社:都内中小企業が開発した防災製品の展示
- ・ 株式会社ナック:防災備蓄用の水商品の展示・試飲

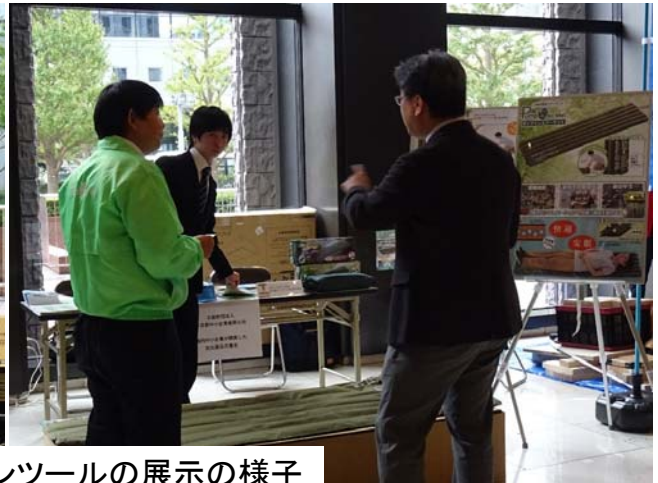
4

新宿ならではの” 防災コミュニケーションツール(2)



5

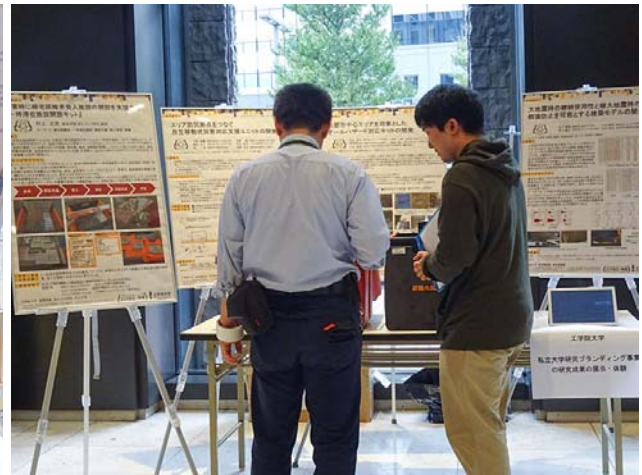
新宿ならではの” 防災コミュニケーションツール(3)



防災コミュニケーションツールの展示の様子

6

新宿ならではの” 防災コミュニケーションツール(4)



防災コミュニケーションツールの展示の様子

7

3ビル対抗VR避難ゲーム

高層ビル火災を想定し、火災現場からの避難をVR技術を活用した疑似体験。
避難方法や避難時間に基づいて3段階で判定し、3ビルで評価を競う。

□ 実施日時:2019年11月13日(水) 第一部11:30~13:30、第二部17:00~18:00

※新宿センタービルは第二部を14:15~16:00で開催

□ 実施場所:新宿センタービルロビー南側、新宿野村ビルロビー西側、
新宿三井ビルディングロビー北側



新宿センタービル



新宿三井ビルディング

D-ZEVのデモンストレーション展示



D-ZEV(災害対応自立移動式ゼロエネルギーユニット)

改造したワゴン車2台に蓄電池・太陽光発電付テント・仮設救護ユニット・デジタルサイネージ等を搭載し、災害時・停電時でも必要最低限の電源や情報、救護スペースを提供するユニット



D-ZEVと連携して情報を収集する
D-ZEV mini(写真左)

起震車体験、コーヒーサンプリング

起震車体験

- 実施日時: 11月13日(水) 14:00～16:00
- 実施場所: 新宿野村ビル前南側道路



コーヒーサンプリング

- 実施日時: 11月13日(水) 8:00～10:00、11:30～(無くなり次第、終了)
- 実施場所: 新宿野村ビル、新宿三井ビルディング



10

講演会「事業所の地震対策」

事業所の地震対策をテーマに、気象庁が発表する地震・津波情報、長周期地震動対策などをご紹介いただくとともに、地震時の人的被害軽減のために東京消防庁が進める室内安全対策について講演。

- 実施日時: 11月14日(木) 15:00～17:00 参加者: 46名
- 実施場所: 工学院大学新宿キャンパス6階A0652 教室
- 講師:

講演①「長く続く大きな揺れからあなたを守る
～気象庁の長周期地震動に対する取り組みについて～」

気象庁地震火山部地震津波監視課調査官 岡部 来 氏

講演②「地震による室内被害の実態とその対策」

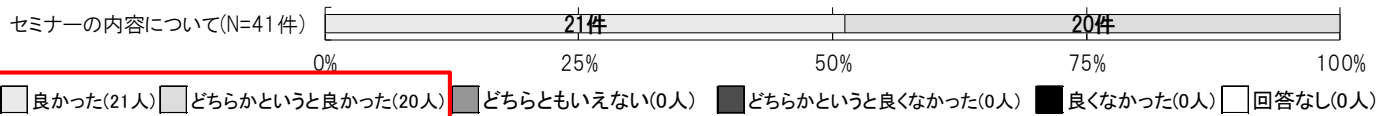
東京消防庁防災部震災対策課長 水村一明 氏



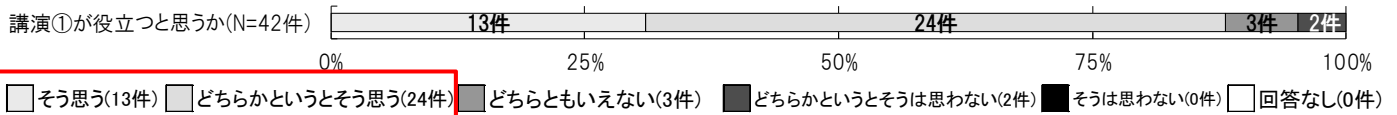
11

講演会 アンケート結果

□ 本日の講演会はいかがでしたか？



□ 講演①の内容は、所属組織の防災・事業継続の取組の推進に役立つと思いますか？



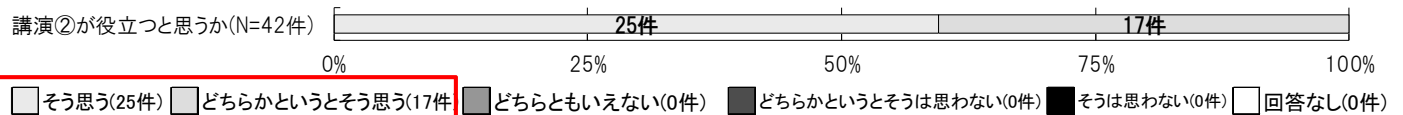
主な意見

- ・ 長周期地震の対策、メカニズムがよくわかった。長周期地震動の詳細が理解できた。長周期地震動の階級に関する情報を知ることが出来た
- ・ 長周期階級速報、予測情報が出されていることを知り、今後の対応に活かせると思った。
- ・ 配付資料等を基に社員全体で防災意識の向上を図っていききたい。ロッカーなどの固定を早急に実施したい。
- ・ 東北の地震から長時間経過しており、当時の被害を忘れかけているところがあるので、南海トラフに備えて再周知できそう。
- ・ 実際の地震映像、実際の映像を見せていただけたので、背の高い家具、地震対策をしていないことが大変危険だと理解できた。
- ・ 事前に地震が来ることがわかれば、避難や対策をとるのにパニックになりにくいと思う。

12

講演会 アンケート結果

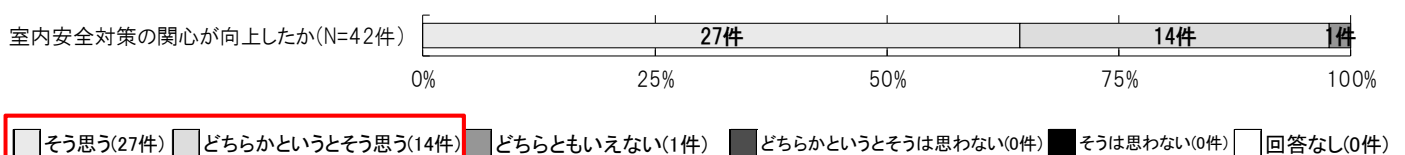
□ 講演②の内容は、所属組織の防災・事業継続の取組の推進に役立つと思いますか？



主な意見

- ・ 大阪や北海道地震で何があったか、そして何をやる必要があるのかが具体的に説明していただき大変分かりやすかった。
- ・ 地震後の具体的な被害分析の情報を得ることが出来た。
- ・ 映像で具体的に見せていただいて非常に参考になった。
- ・ 避難経路を考慮した備蓄の配置等考えていく必要性を感じた。
- ・ 実際の被災した人のアンケートや写真等を見ると生々しく感じた。
- ・ 自宅と違いオフィスには書類をはじめ、様々なデータや業務に必要な設備があり、守るために対策の必要性を感じた。
- ・ 家具などの転倒防止、停電時の用意が大切であることに改めて気づいた。
- ・ 地震被害での家具類の転倒、落下による被害の実態が参考になった

□ 長周期地震動対策や室内安全対策への関心は高まりましたか？



13